【実施区域・面積】

大分県、9.98ha

【生態系タイプ】

水田、畑・果樹園、里山林、
二次草原・草地

【実施区域の状況】

本サイトは、大分県国東市安岐町に流れる荒木川中･上流域（標高150m～約260ｍ）に位置し、 水田（棚田）、畑・果樹園、里山林といった里地里山の環境が形成されている。本農場は、全て不耕起有機栽培の“持続可能な福祉農場”である。



【目標】

三角ベース「1000年ゆめ農場」の理念：「人と自然が共生し、1000年先まで持続可能でいのち豊かな、みんなが輝く自然農場の創生」をめざす。･･･その実現のため、①不耕起有機栽培による自然との共生機能の保持、②障がいを持った利用者の方のリハビリテーションの継続と回復、自己実現を目標とし実践している。

【主な活動内容】

荒木川上･中流域の耕作放棄地を買い取ったり借り上げたりして自然環境に配慮した“農・福”連携活動、即ち“農・福・環”連携活動を利用者とともに、以下の全4箇所の農場を維持・管理している。

【モニタリング計画】

荒木川上･中流域の全4箇所の「1000年ゆめ農場」（①「自然栽培 畑・果樹園」、②「自然栽培 棚田」、③「自然栽培 ビワ園」、④「竹林（ハチク）」）と周辺の生物調査を、継続的に実施する。

【実施体制】

全4箇所の「1000年ゆめ農場」群は、代表申請者の三角ベースが“農・福・環”連携活動により維持・管理し、農場群の生物調査は、共同申請者のNPO法人大分環境カウンセラー協会が継続して行う。



不耕起有機栽培の田植え



荒廃竹林整備のための共同作業

【計画期間】

2026年3月～2031年2月